

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回 和泉市子どもの読書活動推進協議会
開催日時	令和5年2月3日（金）13時30分～15時
開催場所	和泉市役所 5A会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員 小前会長、柴田副会長、水沼委員、弓削委員、藤原委員、植野委員、坊内委員、石橋委員、戸出委員、熊取谷委員、絹岡委員、野井委員 ・事務局 小川教育長 生涯学習部：辻部長、西田生涯学習推進室長、橋本生涯学習担当課長、黒川生涯学習担当総括主幹、庄司主任、渡士主任 教育・こども部：阪下学校教育室長 子育て健康部：岡本こども支援担当課長、隼田健康増進担当総括主幹（代理出席） 和泉市立図書館：岩本和泉図書館長、小林シティプラザ図書館長 人権文化センター図書室：猪上主任
会議の議題	<p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度の各コンクールの実施状況について (2) 和泉市生涯学習・スポーツ推進計画について (3) その他
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項 (会議の公開・非公開、傍聴人数等)	<p>会議：公開 傍聴人：なし</p>

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

事務局	<p>【開会挨拶】</p> <p>本日の会議は、委員13名中、12名様のお出席をいただいております。和泉市子どもの読書活動推進協議会規則第6条第2項の規定により、過半数に達しておりますので、当会議は成立していただきますことをご報告申し上げます。</p> <p>ここからの進行につきましては、和泉市子どもの読書活動推進協議会規則第6条第1項の規定に基づきまして、小前会長に議長として進行をお願いいたします。それでは小前会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>前回の会議は8月だったと思います。その際は皆さんから活発なご意見をいただきまして、ありがとうございました。その後、コロナはまだ難しい問題と思いますが、社会活動は徐々に戻ってきておりますので、そのような状況を踏まえながら、この協議会でまた皆さんの活発なご意見をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、早速ですが、お手元の次第に沿って始めさせていただきます。</p> <p>まず次第の1、小川教育長よりご挨拶申し上げます。教育長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>【教育長挨拶】</p> <p>それでは次に次第の2、報告の(1)令和4年度の各コンクールの実施状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より、令和4年度に実施しましたコンクールについて、ご説明いたします。</p> <p>本年度は、読書にかかわる3つのコンクールを実施しました。まずは、図書館を使った調べる学習コンクールについて、ご説明いたします。資料番号2「図書館を使った調べる学習コンクールの実施状況について」をご覧ください。</p> <p>和泉市図書館を使った調べる学習コンクールは、当コンクール実行委員会が主催となり、今年度が7回目の開催となりました。このコンクールは、身近な疑問や興味を持ったことなど各自で自由にテーマを決めて、公共図書館や学校図書館の資料を活用して詳細を調べ、それをまとめあげた作品を募集するというものです。図書館の利用促進はもちろんのこと、自らの疑問を解決し、答えを導き出したときの楽しさ・充実感を子ども達自身に実感してもらい、学び続ける姿勢、解決策やアイデアを生み出していく力を育む機会となることを、目的としています。今年度は71点の応募があり、その中から部門ごとに入賞作品を選出いたしました。そして、特に優秀と認め</p>

られた作品は、公益財団法人図書館振興財団主催の全国コンクールに推薦しました。

次に、応募状況等につきまして、資料番号2・別紙をご覧ください。まず、過去5年間の応募状況ですが、平成30年度が77点、令和元年度が85点、令和2年度が33点、令和3年度が78点、令和4年度が71点の応募がありました。なお、令和2年度の実応募点数が少ないのは、新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言、学校の休校、外出自粛が影響しているものと思われます。学年については、小学校低学年と中学年の応募が比較的多くありました。

次に、中ほどの令和4年度の実応募作品一覧をご覧ください。こちらに掲載したのは受賞作品のみですが、各児童・生徒が、それぞれ色々なことに興味を持ち、調べようとしたことが窺えます。

次に、下の過去5年間の全国コンクール推薦作品一覧をご覧ください。先ほど申し上げたように、特に優秀な作品を全国コンクールに推薦・応募したところ、いずれの作品も奨励賞または佳作に入選しました。なお、令和4年度は全応募作品数が113,450点で、そのうち入賞した点数は、優秀賞が134点、奨励賞が258点、佳作が1,256点となっております。

以上で、図書館を使った調べる学習コンクールについての説明を終わります。

引き続きまして、和泉市小学生読書おたよりコンクール、中学生POPコンクールについて、ご説明いたします。資料番号3「令和4年度和泉市小学生読書おたよりコンクール、和泉市中学生POPコンクールの実施状況について」をご覧ください。こちらのコンクールは、和泉市教育委員会が主催となり、今年度が2回目の開催となります。

小学生読書おたよりコンクールは、本を読んで感動したことや印象に残ったことなどを、絵と文章でお手紙の形式で表現した作品を募集しました。中学生POPコンクールは、お気に入りの本やおすすめの本を、絵と文章で紹介するPOP作品を募集しました。公共図書館・学校図書館の利用促進はもちろんのこと、児童・生徒が本に親しみ、読書への関心を高める機会となることを、目的としています。

今年度は小学生読書おたよりコンクール低学年の部に162点、高学年の部に159点、中学生POPコンクールに24点の実応募があり、その中から部門ごとに入賞作品を選出しました。

なお、入賞作品は、12月に和泉図書館、シティプラザ図書館、北部リージョンセンター図書室を巡回展示し、多くの市民の方々にご覧いただきました。また、いずれのコンクールも、マクドナルドフランチャイジー株式会社フルライフ様に特別協賛をいただき、副賞のマックカードをご提供いただきました。

次に、応募状況等につきまして、資料番号3・別紙をご覧ください。上の2つの表は、令和3年度と4年度の実応募作品の学年別の応募状況です。小学生においては、令和4年度は3年度に比べて1年生の実応募が減ったものの、6

<p>会長</p>	<p>年生の応募が大きく増え、全体として26点の増となりました。また、中学生は、前年度に比べて37点の減となりました。</p> <p>次に、下の2つの表は、各コンクールの受賞作品一覧です。小学生は、本を読んで感じたこと、伝えたいことがお手紙という形で生き生きと表現され、イラストも絵具や貼り絵を使ったものなどがあり、素晴らしい作品がたくさんありました。中学生も、イラストの完成度が素晴らしく、目を惹く作品が多くありました。</p> <p>来年度以降も、多くの児童・生徒に興味を持ってもらい、読書意欲の推進につながるよう、周知に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上で、和泉市小学生読書おたよりコンクール、中学生POPコンクールについての説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。調べる学習コンクールと、読書おたよりコンクール、POPコンクールの説明がありましたが、ただ今の件で何かご質問等はございませんか。</p> <p>特にないようですので、続きまして（2）の和泉市生涯学習・スポーツ推進計画について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局より、和泉市生涯学習・スポーツ推進計画について、説明いたします。</p> <p>お手元の資料番号4「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画について」をご覧ください。</p> <p>1. 計画策定の背景と目的としまして、本市では、第2次和泉市生涯学習推進プラン、改訂版の和泉市スポーツ推進基本計画により、生涯学習施策・スポーツ施策の推進を図ってまいりましたが、令和4年度に両計画の期間が終了するため、両計画を統合し、一体的な計画として策定することになりました。</p> <p>読書施策につきましては、平成31年3月に策定した第3次和泉市子どもの読書活動推進計画により、本協議会において委員の皆様にご意見をいただきながら進行管理を行い、推進してまいりましたが、来年の令和5年度末をもって計画期間が満了となることから、新計画に統合していくことになりました。</p> <p>令和5年度は、第3次和泉市子どもの読書活動推進計画と和泉市生涯学習・スポーツ推進計画の二つの計画に基づき、引き続き本協議会で委員の皆様のご意見をいただきながら読書施策に取り組んでまいります。</p> <p>なお、第3次和泉市子どもの読書活動推進計画の計画期間後の令和6年度からは、和泉市生涯学習・スポーツ推進計画に基づき、これまでの計画には位置づけられてこなかった成人も計画の対象とし、子どもから高齢者まで、生涯にわたる切れ目のない読書活動支援を行えるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、令和6年度以降、本協議会は「（仮称）和泉市生涯学習推進協議</p>

会」に統合し、新計画に基づき生涯学習施策の一環として相互に連携しながら読書振興に取り組んでいただくこととなります。

2. 計画の期間、3. 今後のスケジュールは、記載のとおりです。

和泉市生涯学習・スポーツ推進計画は、小前会長にも委員をお務めいただきました関係団体の代表・学識経験者等で構成する計画策定委員会の開催を重ね、12月9日から1月10日にかけてパブリックコメントを実施し、作成を進めてまいりました。この後、市議会に報告を行い、完成という運びになる予定です。

続きまして、お手元の和泉市生涯学習・スポーツ推進計画をご覧ください。この計画は、生涯学習・スポーツを通じて、「いつでも誰でもずっと元気でみんなで支え合うまちづくり」をテーマとし、全6章で構成しております。

計画中、読書活動の推進につきましては45頁から47頁に記載しております。初めに、45頁をご覧ください。（1）読書・学習支援体制の充実のための施策の方向としまして、電子図書館等の図書館サービスの充実、図書館ボランティアとの連携、すべての世代の読書活動を切れ目なく支援することについて記載しております。

次に、46頁から47頁をご覧ください。（2）子どもの読書活動推進のための施策の方向としまして、ブックスタート事業等、家庭・地域における読書活動の推進、就学前施設・小中学校等と連携した読書活動の推進、ぶっくんつうちょうや読書関連コンクールによる子ども・若者を対象とした読書活動の推進について記載しております。

次に、60頁をご覧ください。本計画に基づく施策・事業の実施・進捗管理につきましては、教育委員会及び本計画の進行管理を行う会議体において報告し、計画の推進や取組について意見をいただくものとしております。計画の進捗を評価するために、施策分野ごとに目標指標を設定し、計画に基づく事業の実施状況を評価する中心的な指標として、計画終了年度の目標値の達成をめざしてまいります。

読書活動の推進のための指標としましては、目標指標に市民1人あたりの市立図書館貸出点数を設定し、令和3年度時点で6.43点だった貸出点数を10年後には7点まで引き上げられるよう取り組んでまいります。また、目標指標のみで把握できない取組の状況を確認するために設ける進捗管理指標としては、市立図書館の実利用者数、市民1人あたりの市立図書館蔵書点数、子どもの市立図書館利用者率、子どもの不読者率を設定し、毎年度数値を確認することで、事業評価に活用してまいります。

以上でございます。

会長

ありがとうございました。計画につきましては、この協議会にかかわることでもありますので、スケジュール的な面を委員の皆さんに改めてもう一度、ご確認・ご理解をいただこうと思います。今後、令和5年度、6年度はどんな形になるのか、簡潔にもう一度説明をお願いできますか。

事務局	<p>令和5年度につきましては、第3次和泉市子どもの読書活動推進計画と、和泉市生涯学習・スポーツ推進計画の二つの計画に基づきまして、引き続き本協議会で委員の皆様のご意見をいただきながら、読書施策に取り組んでいくこととなります。</p> <p>次に令和6年度につきましては、第3次和泉市子どもの読書活動推進計画の計画期間が令和5年度末に満了するため、和泉市生涯学習・スポーツ推進計画の進行管理を行う会議体に本協議会を統合しまして、一体的に進行管理を行っていく予定をしております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。令和5年度に関しては、二つの計画が併存しているという形で、この協議会としては、引き続きこの子ども読書活動推進計画に基づく話を進めてよろしいですね。その一方で、生涯学習・スポーツ推進計画があるということも踏まえて、この読書活動推進計画の関連の論議を進めていくということでもよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>そして、令和6年度になりますと、二つの計画が併存していたけれども、令和6年3月末で子ども読書計画は終わる。それで生涯学習・スポーツ推進計画が残って、委員会についても、新たな総合的な委員会を発足させるということですね。</p>
事務局	<p>はい、その予定です。</p>
会長	<p>こういったスケジュールをご理解いただいて、この件につきまして、ご意見ご質問等がありましたら後ほどお願いしたいと思いますのですが、まず一点だけ私の方から少しお話をさせていただきます。</p> <p>和泉市子ども読書活動推進計画を策定して、それに基づいてこういった協議会を進めてきましたが、今度から大きな計画に統合されるということで、スポーツと生涯学習、そこに子ども読書が入るということですが、子どもの読書活動というのは、スポーツとか生涯学習とは違った特質もあると思います。それは何かというと、やはり子どもの成長に関わっているということだと思います。生涯学習・スポーツといいますと、趣味やキャリアといった部分が大きいと思いますけれども、子ども読書は、乳幼児から小学生・中学生に至るまでの成長に関わる協議会なので、この協議会で論議していくような特質が、今度からの広い形の協議会でも活かせるような形で進めていただきたいと思います。今後、新しい協議会の発足に向けて、子ども読書の取組みも認識していただけたらと思う次第です。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p>

<p>会長</p>	<p>和泉市生涯学習・スポーツ推進計画のほうは、第3次和泉市子どもの読書活動推進計画には位置づけられてこなかった成人の方も、計画の対象としております。範囲が広がるのですが、子どもから高齢者まで、生涯にわたる切れ目のない読書活動の支援を行えるように取り組んでまいります。しかしながら、子ども達にとって読書は、感性や想像力を育み人生をより深く生きていく力を身につけるために欠くことができないと思います。子どもの読書活動推進の取組みにつきましては、委員の皆様を引き続きご協力賜りながら、新しい計画の中でもしっかりと受け継いでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>24ページあった子ども読書計画が、新しい計画では3ページになって、少ないなと思ってしまいますが、今説明いただいた趣旨で、今後とも取り組んでいただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、次第の(3)その他のところで、事務局から何かございましたら、ここで報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局から1点、報告がございます。</p> <p>昨年11月、和泉市出身で、現在は東京都にお住まいの川上量生様から、一千万円分の図書のご寄贈をいただきました。内訳としましては、和泉市立図書館4館に2,479冊、6,913,832円分の図書をご寄贈いただきました。また、市内の小中学校・義務教育学校のそれぞれの図書館に10万円分の図書をご寄贈いただき、全校で1,769冊、3,086,215円分の図書をいただきました。</p> <p>川上様は子どもの頃に緑ヶ丘にお住まいで、和泉市立図書館や当時巡回していた自動車文庫をよく利用されていた経験から、社会貢献として図書館へ本を寄附したいと申し出てくださいました。なお、平成17年にも一千万円分の図書を寄附いただいております。今回の2回目となります。いただいた図書は、川上文庫として大切に活用させていただく所存です。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。和泉市出身の方からたくさんの本のご寄贈があったということですね。</p> <p>事務局からの報告でしたけれども、ここで協議会の委員の方々、何かありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>すみません、計画について質問があります。</p> <p>新しい生涯学習・スポーツ推進計画の中の目標数値ですが、学校図書館についての記載がありませんでした。学校図書館は子どもの読書に関して大切なことと思うのですが、載っていない理由を教えてくださいませんか。</p>

事務局	<p>今回の計画ですが、目標指標を一つ挙げております。そして、その目標指標だけでは把握しきれない取組みの状況を確認するために、市民一人あたりの市立図書館蔵書冊数ですとか、そういった進捗管理目標を設けております。確かに現在の第3次の計画にはいろいろな指標と目標がありましたが、それらを全てこの計画の中には盛り込むことができませんでした。しかし、それらが掲載されていないからといって、進捗管理を続けていかないというわけではなく、ここには掲載がなくても、しっかりと見極めて取り組んでまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p> <p>この項目数については、他の項目との兼ね合いもあってなかなかスペースの確保が難しいのかなと思ったのですが、そこが抜けてしまうことによって、学校図書館について考慮しないということがないようにしていただきたいと思いました。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
会長	<p>学校図書館に関しては、今の計画では、例えば学校図書館図書標準達成など学校図書館に関係する数値目標が入っています。今の計画から新しい計画になったとき、学校図書館支援などの部分をどこでどう話せばいいのか、先ほど委員からご指摘があったように、抜け落ちかねないと思います。ですので、この協議会が新しい会議に統合されるのであれば、これまで学校図書館について論議してきたという部分も継承されるような形で考えていただけたら、と思います。</p>
委員	<p>すみません、これはただの感想かもしれないですが。今さら言うのも何ですけど、生涯学習とスポーツの中に読書が入っているという、その形がちょっとおかしくないかな、って思いました。</p> <p>例えば、計画の表題に読書という言葉もあればいいのですが、読書という言葉がなくなっています。今まででしたら、子どもの読書という大きな目標でしたけれども、今度統合されることでそれがなくなるので、新しい計画の中に読書が入っているということを皆が理解するには、時間がかかると思います。以上です。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をありがとうございます。これから人生100年時代ということで、長い期間スポーツですとか生涯学習ですとかいろんな機会をとおして、その生涯学習の中に読書も含まれている訳ではありますが、ここでは大きい枠の中で取り組んでいけるようなことを推進していければと考えております。確かに読書というのは、この計画の中に溶け込むことによって、計画の中の一つという位置付けになってしまうかもしれないですが、だからといって子どもの読書活動の推進をはじめ、この読書振興</p>

<p>会長</p>	<p>の取組みが衰退してしまうことがないように、委員の皆様のご協力を引き続きいただきながら、しっかりと取り組んでまいりたいと思いますので、ぜひ、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>これから、この計画を進めて行く中で、実質的には生涯学習・子ども読書・スポーツ推進計画ということになるかと思っておりますので、そういったことも踏まえながら、委員の皆様からご意見がありましたように、読書も入っているということが市民の皆さんにも分かる形で考えていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、この場は子どもの読書活動の進捗状況を踏まえてという会議ですので、せつかくの機会でもありますので、ただいまのお話も踏まえながら、ご意見や現状をご紹介していただきたいと思っております。そこから子どもの読書の様子も伺えるのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>幼児教室におきましては、まだコロナの影響が大きいです。集まりには少しずつ人が戻ってきていますが、なかなか前のような状態に戻りません。</p> <p>図書館の活動に関しても、その時々によって波がありますが、少しずつ増えていっているのではないかなと思っています。ただ、なかなか読書とまではいかなくて、今は支援の場は赤ちゃんがほとんどで、2歳になりますと子ども園か保育所に入ってしまうので、お母さんの手から本を読んでもらうという機会が、時間的にどうなんだろうと、ちょっと心配はしています。</p> <p>私達の施設でもできるだけ、季節やその時々のお話を交えた図書をおすすめはしているのですが、効果はどんな感じか、掴めてはいない状況です。</p>
<p>委員</p>	<p>我が家には5年生と年長の子ども二人がおりまして、二人とも先日ぶっくんつうちょうの1冊目が終わりました、粗品をもらえるということで、これから金融機関を順番に回ろうと思っています。そういう取組みが、地道なことだと思うんですけど、拡大して行って、それが子どもの読書につながるっていうのは、本当に願っているところです。ぜひそういった取組みを今後も続けていただきたいなと思います。</p> <p>また、先ほどの計画の件ですが、新しく変わるということで、分厚くなるんですけど、子どもの読書に特化した部分は薄くなっているんですね。何事も良し悪しですけど、その切れ目のない全生涯的な支援につながるのであれば、良いところもたくさんあると思います。取扱いが小さくなったり、注目されなくなってくるということになるべくフォローしていただいて、今後とも積極的にこの子どもの読書活動を支援していただきたいなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>読み聞かせのボランティア活動に関わらせていただいております。身近</p>

な現状をお話しします。

横山小学校は先生方の意向で、コロナ禍でも子ども達にできる限りの経験をさせてあげたいという思いで、1か月に1回、1年生から5年生までを対象におはなし会を開かせていただいております。12月に高学年の子ども達に、マッチ売りの少女を読んだんです。今はあまり家でそういう物語を読まないんじゃないかなと思って選びました。子ども達は静かに聞いていて、お話が終わったときに、一人の男の子が「せつないなあ」ってつぶやいたんです。私、鳥肌が立ちました。子ども達の世界に悲しいとか寂しいとか、そういう言葉は常にあると思うんですが、せつないってことで。本当にそういう感動をいただきながら、小学校では活動しております。ただ、保育園のほうは、残念ながらこの3年間、活動できておりません。一箇所に人が集まるのをまだ遠慮しているような状態で、できるだけ早いうちに再開できたらいいなと思っております。

あと、南部リージョンセンターの中にある図書室ですけれども、最近道の駅が新しくなって、お客様がいっぱい来られています。たまたま遠方に住んでいる方が道の駅に立ち寄った時に、その隣に図書室があるということで、お子さんを連れてふらっと入って来ることがすごく多くなったように思います。その近くにまた、桜公園っていう総合遊具がある素敵な公園がありまして、ちょっと公園に行くと、図書室でお話が始まるよって声をかけたら入ってきてくれたりとか。これも春が来ていい季節になったら、外にシートでも敷いてお話をするような読み方もできたらいいのになって、考えています。

また、私も、先ほどもお話がありましたように、この今の素晴らしい推進計画が、新しいものに移るということで。去年この新しい計画の案を家に送っていただいたときに、読書活動のことはどこに行ったんだろうと思って、そしたら子ども読書が3ページという枚数に収められていることにまず驚きました。読書関係のページがちょっとだけになりまして、枚数が多いから良いとか、少ないから良くないというわけではないと思うのですが、この素晴らしい今までの歩みをずっとちゃんと続けていただけたらいいなと願っております。

委員

先ほどから計画の話が出てるんですけど、私もこの「本が大好き・和泉っ子」という題がすごく良かったんですけど、なくなっちゃったのがちょっとショックです。ですが、一応、スポーツも含めた推進計画ということで、子育てする身としては、スポーツをする子は今でもすごく多いと思います。そういうスポーツをしているグラウンドに、たくさん本を積んだ移動する車があるならそこに行って、本を借りて帰ってもらってということをするれば、スポーツと図書が結びつくのではないのかなと思いました。

あと、先ほどコンクールのお話がありましたが、生涯学習ということで、今は小学生と中学生だけが対象になっていますけど、親や祖父母と一緒に応募できるものがあって、親がすすんで応募すれば、もう少し応募点数が

委員	<p>増えるのではないかなと思います。</p> <p>あと、私もこの前、山愛の里に行ったんですけど、すごくいい所で、ああいう施設がもっともっと和泉市に増えるといいなと思いました。遊具が減ってる公園も多いんで、スポーツも併用で、遊具がたくさんある公園と横に図書室っていう感じのものをもっと作ってください。以上になります。よろしくお願いします。</p> <p>先ほども申し上げたように、やはり、生涯学習とスポーツという題名がすごく違和感があります。ほんとは、加わるつながるひろがる、読書・スポーツなどの実現みたいな形ではないかなって思ったりしていますが、これは今更言っても仕方ないことだと思います。</p> <p>あと、これからということで提案は、市の広報と共に配布されるハザードマップやごみ回収、いろんなガイドブックのように、図書館利用ハンドブックという保存版のような冊子を作って配布していただいたら、図書館使い方のことが載ったものが一家に一冊あれば、大人への啓発も大事ということなので、そういう利用ハンドブックを作って配布してもらえたらなと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ここまでの委員さんの話を聞いて、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>いろいろと計画についてのご指摘をいただきまして、ありがとうございます。今後、生涯学習・スポーツ推進計画に移行しても、子どもの読書推進というところについては、しっかりやっていきたいと思っています。子どもの読書をゆるめるということでは決してございません、ということをお申し上げます。</p> <p>それから、学校の図書館というお話がありましたが、非常に大事なことと思っております。今後、公共の図書館と学校図書館の連携をさらに強化していくということで、システム連携も含めて実施できればと思っています。</p> <p>それから、南部リージョンの道の駅ですけども、委員さんがおっしゃったとおり遊具を置きまして、あの辺りのお客さんもたくさん来られることを見込んで、図書室については子ども向けの図書も増やししながら、運営しています。外でも読み聞かせをやるとうところで、今は木製のベンチを室内に置いているんですが、それを外に置いて、そういう場が持てたらいいなと思いますので、今後検討していきたいと思っています。</p> <p>また、遊具につきましては、南部リージョンセンターにあるものより大きいそこそこ立派な遊具を、今度は槇尾山の青少年の家の近くに設置する予定です。加えて青少年の家もリニューアルしていくところなので、子ども達も行きやすくなって活性化すると思いますので、参考程度にご案内させていただきます。以上です。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>生涯学習部長から、子どもの読書活動推進計画からの新しい計画にあたりまして、力強いしっかりしたお話をいただきましたので、どうぞよろしくをお願いいたします。あわせて、他の施設との連携、計画の話もありましたので、そういった形でこれからも取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>では、次は学校の様子を伺わせていただいでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>中学校での現状をお話させていただきます。調べ学習のコンクールやPOPコンクールに本校からも応募しておりますが、応募点数が非常に少ない状況です。締切りが9月か10月頃なんですけど、どうしてもその時期というのは学校行事、体育大会や文化祭がありまして、学校全体が学校行事のほうに動いている時期になってしまっていて、学習活動の面でこの時期に調べ学習コンクールがあるから調べ学習の時間を取るとか、POPコンクールがあるからPOPのカードを作ってみようといった時間が取りにくいというところも実際あるのかなと思っています。それで、夏休み前頃に募集していただいて、夏休みの宿題の一つというような形で子ども達に周知ができれば、少しでも応募点数が増えてくるかもしれないと思っています。</p> <p>あと、調べ学習の方は、今まで社会科とか限られた教科でしか行われていなかったのが、今は本校では理科や社会科、国語でも調べ学習という形で幅広い教科で行われるようになってきています。ただ、どうしても一人一台端末が導入されて、図書室で調べ学習をしようと思っても、図書室はその時間に1クラスしか使えないので、教科が増えるとどのクラスが図書室を使うかという調整がすごく大変です。それでどうしても生徒一人一人が端末を持っているから、パソコンなら同じ時間に何クラスでも調べ学習ができますので、どうしてもパソコンのほうに流れてしまうところを感じられます。紙の本を読んで、指先も使って目で見ながら調べる、ということも必要とは思いますが、そのあたりをどうしたらいいかっていうのは、学校のほうでも考えているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>本日はいろいろ教えていただき、ありがとうございました。</p> <p>直接読書には関係しないですが、今日は節分ということで、毎朝学校の門で子ども達を出迎えているんですけど、「今日は豆まきの日や」とか言って元気に来る子ども達に「よう知ってるなあ、おうち帰って豆まきするの?」って聞いたら、「やったことない」と言う児童が思った以上に多いんです。豆まき、節分、鬼は外・福は内は知っていていっぱい喋ってくれるんですけど、実際やったことがあるっていう児童が本当に少ない。校長1年目ですけど、本当に驚きでした。そういう意味では、知識としては持っていても、体験という部分は非常に薄らいでいる世の中になっているのかなと感じます。</p> <p>あと、新しい計画のタイトルに生涯学習・スポーツとありますが、興</p>

味あること、できることがたくさんたくさん世の中にあって、その中で自分が興味あることをやっているけども、そうじゃないことは手を出さなくても知らなくても、何不自由なく豊かな人生を生きていけるというような、いろんなことがあふれている。そういう世の中になってるのかなと思いました。

ですから図書館でいうと、非常に難しいところなんですけれど、やはり文化や伝統であったり、いろんな知的なことに誰もが平等に触れられる環境というのは、公共施設の中でも図書館が一部担える部分もあるのではないのかなと思いました。

で、また、文化伝統と言いますと、一部の校区のことしか知らないんですが、市内のあちこちの校長先生から聞いたところによると、やはり多国籍、国際化といいますか、実際に本校でも外国にルーツのある児童が増えてきている現状もあります。もちろん日本語の読み書きがままならないという子ども達もいます。そういう状況を考えますと、図書館・読書という取組みにしても、日本語だけでなく多国籍に対応していくっていうのも、一つの切り口としては、特に大人を巻き込んでという形で一つあるのかなと思います。先ほどの節分もそうですけれども、様々な国や地域、民族の文化にふれる文化センターというような形というのも、可能性としてはあるのかなというふうに感じております。

さらにですね、先ほど自動車文庫という言葉が出てきましたが、私もいつの間にか自動車文庫がなくなっているなあっていうのが実感なんです。私が初任の時、もう30年ほど前ですけど、教員になったとき幸小学校に配属されました。その時は本当に自動車文庫が楽しみで、正門を開けて学校にやって来てくれる。それを教員が調べ学習に使うということでいろいろ選んだり、PTAの方達や子ども達が楽しみに借りて帰る姿を思い浮かべておりました。それから教育委員会に入ったり現場をしばし離れて、和泉市に戻って来た時は、もう既に自動車文庫がなくなっていました。そのような声がもし市民からあるのなら、そういった出かける図書館っていうのも意味があるものではないのかなと思っております。

また、令和6年度から本格的にこの生涯学習・スポーツ計画というものに移行することにつきまして、皆様も懸念されているように子どもの読書が薄くなっています。限られた力とかマンパワーを注力していただいて、数少なくても良いものを、より効果的なものに絞り込んでいただいて、大人の読書や各種コンクールがそれなりに効果があるなら、その対象を広げることもいいでしょうし、様々な読書に係るものをどんどん巻き込んでやっていく取組みが、これから期待できるのかなと思っております。

ただ、コンクールにつきましては、これは子ども、小学校現場の視点で話しますと、応募数を増やすには二つのポイントがあると思います。一つは実施する宣伝の時期です。これも学期中にはなかなか取組みにくいというのがあります。逆に言えば、長期休業を利用して取り組んでみようかなと思えるような宣伝の期間をいただく。具体的には夏休み、冬休みも

しくは春休みという時期に実施していただくとやりやすいのかなと思います。もう一つは、非常に現実的ですけど、景品があると応募数は多くなるのかなと思っています。

あと最後になりますけど、学校図書館の充実につきまして、小学校現場の限られた意見かもしれませんが、やはり環境整備というのが大事だと思います。子ども達が行きやすい、行きたいと思える図書館というのは、現状は学校によって非常に差があると思います。その差というのは大きく二つあって、一つはまさにその環境です。新しい・古い、綺麗・汚いというイメージをしていただければ分かりやすいかなと思います。いくつかの学校の図書館へ行く機会がありますが、床がひしひし鳴ったり、砂が入っていたり、棚が古くて危ないとか、蔵書が少ないという図書館も実際にありますので、そういったところ、縦割り行政の難しさもあると思いますが、ご支援いただけると嬉しく思います。

もう一つは人的配置です。学校図書館司書を昨年度より配置していただいておりますが、非常にありがたいですが、学校規模によって柔軟に配置をしていただけると助かります。本校の場合は大規模校で学級数が多いんですけど、司書の方の勤務時間の関係で毎日1時間は司書が学校図書館に不在で、いろんな面で授業のサポートをしてもらえないので、その負担を教員が担っているところもあります。また、勤務日数の関係で、週に4日勤務の週もありますので、そういったところを配慮して、配置を増やしていただく、あるいは勤務時間を増やしていただくとか、何か画一的はない柔軟な取組みをしていただければありがたいと思います。

委員

当保育園の現状としましては、先ほど委員さんがおっしゃったように、ボランティアさんの読み聞かせについて、令和2年から3年は見合わせていたんですけど、今年やっと復活しまして、月1回来ていただくようになりました。おはなし会ということで、絵本だけでなくエプロンシアターやペープサートなど、年齢に応じて読み聞かせをしていただいています。子ども達は、いつもの担任の先生から読んでもらうよりは目新しいし、いろんな知らなかった絵本もいっぱい持って来てくださるので、すごく興味を持って見えています。

その絵本から生活発表会に繋げていまして、お友達と一緒におはなしの世界を共有して、劇遊びとかごっこ遊びに繋げるんですけど、先日もひとつのお話からどんどん遊びが広がって行って、生活発表会が終わっても、自由遊びの時に友達と一緒ににゃんにゃんと言ってみたり、小道具をつけて楽しんだりとか、やっぱり子どもってすごくおはなしが好きなんだな、というところを目の当たりにしています。これからもやっぱり、おはなしって、絵本って大事なので、そのまま継承していきたいなと思っています。

先ほど節分のお話がありましたが、保育園では本物の豆は投げられないので、新聞を丸めて豆に見立てたものを、壁に貼った鬼の面に投げて「鬼

委員	<p>は外、福は内」と言ったりしています。他にも豆を炒ったり、いわしを焼いて匂いと煙をもくもくさせたりしています。家庭ではなかなか経験できないことを保育園では子ども達に知らせていけるというところで、やっぱり大事な役割を担っているんだなっていうことを、今日改めて感じました。</p> <p>高校の現状を少し話させていただきます。府立の高等学校はいろんなレベルの学校があって、状況も同じではありません。先日、他の学校の図書館担当の先生方と会合があったんですが、レベルの差はあれ、図書館の利用や貸出冊数とかが減少化傾向にあるっていうのが、どこも同じのようです。といっても、その図書館自体も学校によって差があって、本校は本当に最近、図書館を利用する生徒が減ってきてまして、どうしたものかと思っていますところなんです。</p> <p>開館はお昼と放課後にしていますが、ふらっと立ち寄ってすぐに出て行く生徒ですとか、誰も来ないときもあります。継続的に顔を見せている子というのは、お昼休みに教室に居にくい子が、居場所として来ていて漫画とかを読んで帰っていくっていうケースはちよくちよくあるんですが、貸出冊数はなかなか伸びません。</p> <p>調べ学習とかも図書館を使ってもらえたらいいんですけど、一人一台端末が普及されていると、教員のほうも図書館に連れて行ってというよりは、タブレットを開けてインターネットで調べるほうが手軽なので、そちらのほうに情報の検索とかも移行している感じがします。例えば、修学旅行での自由時間や現地のことを調べるのに、今までは図書館に来て調べて紙に書いて、壁に貼り出したりしてたんですけど、今はタブレットでいろいろ情報を検索して、パワーポイントでスライド4枚くらいにまとめるという形になっていました。それはそれでいいんですけども、やっぱり紙の本をちゃんと読むということもどこかで是非してほしい気持ちもあります。</p> <p>あと、高校は専任の司書さんがいません。学校によっては家庭科とか理科の実験とか補助の教員さんがいて、その補助教員が図書館専任という学校もあるんですが、多くの学校は理科の実験が優先です。それで結局、私もそうですけれども、普通の教員が授業の合間に図書館の仕事をしておりまして、なかなか継続して専門的な知識とかノウハウとかが無いままずっと続けていくのが難しくて、そういう現状も図書館利用が落ちている要因なのかなと思ったりしています。以上です。</p>
委員	<p>府立の支援学校につきましても、高校と似たようなところがあります。</p> <p>各校に一人は司書教諭を入れましょうということで、一応司書教諭の免許を持っているんですけど、実際にはその業務に携わってないんです。違う先生にやっていただいて、このような対外的な場で私が出てくるような形になっています。</p>

それで現状どんな感じかと申しますと、コロナ前は生徒同士の読み聞かせがありまして、小学部の子どもに中学部の生徒が読み聞かせをしていたことがありましたが、今は集まらない状況なので、まだ復活できていない状況です。

調べ学習もタブレット端末が出てきまして、そちらに移行されてるんですけど、情報の精査といった部分は難しいので、できるだけ図書館を使って調べていただけたらという声もあるという状況です。

図書館の開室につきましては、本校は授業が終わったら生徒がすぐにスクールバスで帰ってしまうので、放課後は生徒がいないんです。なので、お昼休みに開室するんですけど、お昼の開室も月に2,3回ほど、4回あればいいかなぐらいの現状です。授業で使っていただけたらもう少し利用率が上がるかなとは思っております。それで、居場所づくりということもあって、高等部に限ってですが、一つ区画をいただいて長机を1つ置いて、図書館から本を選んで置かせてもらって、10分休憩やお昼休みとか好きな時間に読んでねっていうフリースペースみたいな形を設けているという状態です。

委員

今日は貴重なお話をいろいろ聞くことができました。先ほどの話の中でもあったと思うんですけど、図書館の貸出冊数が減っているということで、悲しく思っていました。

一方で出版業界は結構好調で、中身は駄目になってると言われてるんですが、電子版も合わせるとコロナ前よりすごく売れてるっていうことです。あとは実際に和泉市でも、コロナ禍に市立図書館が電子図書館を導入したということもありました。あとは、先日の朝日新聞の夕刊で、学校図書館のことが大きく記事になっていまして。こういった背中を押してくれるような動きというか、学校図書館を宣伝してくれていると思うんですけど、このような動きもあるっていうことを考えると、既にもうたくさんの方を進められていると思うんですけど、積極的にいろんなことを進めていただければと思います。

そういうことと関連してなんですけど、私も教え子ですとか知り合いの司書、学校の図書館や町の図書館で働いてる司書、現場の人の声を聞くと、全然見えてくる世界も違うと思っていて、例えば和泉市の学校司書の話を知ると、先ほどの話でもあったとおり、いろいろあるようでして。特に、小中一貫校でも一般校であっても、一人しか学校司書がいないという現状がすごく大変だと思いました。あと、年度末の勤務の最終日に異動を知らされた司書が、引継ぎが全然できなかったっていう話を聞きました。それと、先ほどの話にもあったとおり図書館によっても全然動きやすさが違うっていうことで。私の教え子はほんとに図書館大好きな子が多くて、やりたいことがすごくいっぱいあるんだけど、そういうことでうまくできないっていうことが多いので、人数を増やしていただければと思うんですけど、それが難しいというのであれば、学校司書達が少しでもやる気が出るような状況、例えば異動の一週間前にはお知らせして引継ぎできるように

<p>会長</p>	<p>するとか、お金をかけなくてもその人達のやる気になるっていう手段はいくつかあると思うので、まずは現場の声を聞いて、それを反映させてくれると、より良い学校図書館になっていくんじゃないかなと思います。よろしくをお願いします。以上です。</p> <p>学校現場からのお話がありましたが、委員のご意見ご提案などに対して、事務局から何かありましたらお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ここで全ての意見にコメントするのは難しいのですが、まずコンクールにつきましては募集時期についての指摘もありましたし、親子でというところもあるので、次回の参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>学校図書館の問題については、人の配置ですとかいろいろ問題があると思いますが、先ほど委員さんもおっしゃったように、朝日新聞の夕刊に「広くて自由、私達の学校図書館」ということで、学校の図書館にこたつがあったり、漫画もいっぱいあったりと、一つの居場所になっているという面もありますので、こういうのも面白いなあというところで、学校にとってみればどうなのかなとは思いますが、こういったのもあってもいいのかなと思っています。</p> <p>それから、自動車文庫については、以前はありましたが廃止となりました。なぜかといいますと、最初は市内に図書館が一つしかなくて、それからにじのとしょかん、シティプラザ図書館ができて、それから南部リージョン、北部リージョンというように図書館ができましたので、その代わりに自動車文庫が廃止されたという歴史があります。ただ、イベントの時に、その移動する車もたまにはあってもいいのかなと思いましたが、ぜひ、検討して行きたいなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。今回も委員の皆様から積極的な発言・ご提案に対して、事務局からの誠意ある回答がありまして、大変意義のある会議だったと思います。</p> <p>それでは事務局にマイクをお返しいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>会長、どうもありがとうございました。</p> <p>委員の皆様方のおかげをもちまして、令和4年度第2回和泉市子どもの読書活動推進協議会を終えることができまして、厚く御礼申し上げます。今後とも本協議会へのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。</p> <p>なお、次回開催は、今年の夏頃を予定しております。日程が決まりましたらご連絡いたしますので、ご参集くださいますようお願いいたします。</p> <p>本日はご出席いただきまして、誠にありがとうございました。</p>